

2022年11月8日

テンポスバスターズ「社長の椅子争奪戦」開催のお知らせ

株式会社テンポスバスターズ（住所：東京都大田区、代表取締役社長：森下篤史）は本日、第五回「社長の椅子争奪戦」を開催することをお知らせ致します。

（立候補者紹介 立候補届出順）



伊藤 航太（いとう こうた）

ディースパーク取締役 社長、テンポスホールディングス取締役人事総務部人材事業部 部長、テンポジンパーソナルエージェント取締役



遠山 貴史（とおよま たかひと）

テンポスホールディングス取締役、テンポスバスターズ取締役営業本部 部長



浅井 明（あさい あきら）

ウエスト厨機 取締役社長、テンポスバスターズメンテナンス部 部長



井上 敏彦（いのうえ としひこ）

テンポスバスターズ取締役東日本営業部 部長

「社長の椅子争奪戦」は下記の指標にもとづいて立候補者4名を評価し、2023年4月の全国店長会議にて社長候補を決定、同年7月の株主総会で正式に新社長が決定、就任します。

- ① 自部署での実績
- ② 設定したゴールに対する成果
- ③ 部下の育成

前回の「社長の椅子争奪戦」（2018年2月～6月開催）では立候補者5名が新社長に相応しい実績を上げることが出来ず、新社長の決定を延期いたしました。その後、役員研修会を毎月開催するなど人材の育成に力を入れ、今回改めて「社長の椅子争奪戦」を開催するに至りました。

現社長の森下は 2021 年 8 月 22 日、自身のフェイスブックにて「3 年でホールディングスの社長を後継者に任せ、その後は会長などやらず、子会社の社長として 100 歳まで現役を続ける」と発言しました。多くの中堅・中小企業にとって、事業承継をどのように進めるべきかは大きなテーマです。テンポスバスターズは「社長の椅子争奪戦」が事業継承のひとつのモデルケースとなるよう、報道関係者はもとより、関心ある企業、団体に立候補者 4 名の戦いを情報開示してまいります。

なお、新社長が決定するまでテンポスバスターズは、引き続き森下篤史が代表取締役社長として業容拡大に取り組んでまいります。

【テンポスバスターズ及びグループ戦略】

- 売上/時価総額 300 億グループから 1,000 億グループへ
- 出店戦略 62 店舗から 120 店舗へ
- 外回りメンテナンス部隊 1,000 人体制の構築
- “物売り” から情報サービスも売る企業への変化 (Dr. テンポス推進)
- グループ専門子会社を各社 100 億円規模又は上場させる

【株式会社テンポスバスターズについて】

株式会社テンポスバスターズは 1997 年創業し、2002 年 12 月ジャスダック (現東京スタンダード) に上場しました (証券コード: 2751)。

年商 161 億円、経常利益 21 億円 (2022 年 4 月期) と 4 期連続増収増益の成長を続ける源泉はユニークな人事制度にあります。

2005 年に定年制を廃止、年齢、性別、国籍、職歴を問わない採用や、育児休暇取り放題、バツイチクラブ、店長立候補制度などで従業員数 503 名 (パート、アルバイトを含む) は「飲食店の 5 年後の生存率を 5 割から 9 割にする」をテーマに、飲食店の経営サポートに日々注力しています。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社テンポスホールディングス 広報・販促部

広報担当 乙丸千夏・谷口光児

TEL. 03-3736-0319 FAX. 03-5744-0910 Mail. tenpos-koho@tenpos.co.jp